



サントリー文化財団 2025年度 海外出版助成の決定

公益財団法人サントリー文化財団（理事長 鳥井信吾）は、2025年度の海外出版助成として、10件を助成対象に決定しました。助成総額は702万円です。

当助成事業は、海外における日本理解の促進を目的に、日本語で書かれた優れた研究業績または日本について書かれた書籍の、外国語への翻訳および外国語での出版に対して助成を行うものです。

1979年度の当助成事業の開始以来、2025年度の助成対象を加えると、これまで英語をはじめ計31カ国語による370件の出版を助成対象として決定、日本人の業績や日本文化を幅広く海外に紹介しています。

* 選考委員

- 池内 恵氏（東京大学教授）
- 伊東 信宏氏（大阪大学特任教授）
- 久保 文明氏（東京大学名誉教授）
- 張 競氏（明治大学名誉教授）
- 渡辺 靖氏（慶應義塾大学教授）

1. 本年度助成が決定した書籍

No	書名／著者・編者	出版言語	出版社（国）
1	『グローバル・バリューチェーンの地政学』 猪俣 哲史（著）	英語	ブルッキングス 研究所出版局 （アメリカ）
2	『Held in Transition: Japan's Karafuto Residents Under Soviet Rule on Sakhalin Island, 1945-1949. Words, Objects, Images』 Marie Sevela（著）	英語	バレンシア 大学出版局 （スペイン）
3	『Parallax Memory, Performative Recollection: War Memory in Contemporary Japanese Video Art』 Ayelet Zohar（著）	英語	カリフォルニア 大学東アジア研究所 （アメリカ）
4	『「維新革命」への道 — 「文明」を求めた 19世紀日本』 苅部 直（著）	韓国語	Beanshelf 出版 （韓国）
5	『杉浦康平と写植の時代 — 光学技術と日本語 のデザイン』 阿部 卓也（著）	中国語	江蘇鳳凰美術出版社 （中国）
6	『中国と台湾 — 危機と均衡の政治学』 松田 康博（著）	中国語	国立台湾大学 出版センター （台湾）
7	『特命全権大使 米欧回覧実記 第一編』 久米 邦武（編）	アラビア語	Odabaa 2000 出版・流通 （エジプト）
8	『定本 日本近代文学の起源』 柄谷 行人（著）	スペイン語	協同組合 Radical Books (Verso Libros) （スペイン）
9	『哲学論文集 第二』 西田 幾多郎（著）	フランス語	Mimésis 出版 （イタリア）
10	『囚人と狂気 — 19世紀フランスの監獄、 文学、社会』 梅澤 礼（著）	フランス語	ライン&ドナウ 大学出版局 （フランス）

*No.2、3は英語書き下ろし。

2. これまでに助成を決定した中から、2025年度中に完成した書籍

No	書名／著者・編者	出版言語	出版社（国）
1	『衣服で読み直す日本史 — 男装と王権』 武田 佐知子（著）	英語	大阪大学出版会 （日本）
2	『 <small>おがかんぶうさんろくのうみにちろく</small> 男鹿寒風山麓農民日録』 吉田 三郎（著）	英語	ハワイ大学出版局 （アメリカ）
3	『戦争の地政学』 篠田 英朗（著）	英語	シュプリンガー ネイチャー （シンガポール）
4	『Design Before Disaster: Japan's Culture of Preparedness』 Miho Mazereeuw（著）	英語	バージニア大学 出版局 （アメリカ）
5	『In the Shadow of Empire: Art in Occupied Japan』 Alicia Volk（著）	英語	シカゴ大学出版局 （アメリカ）
6	『中國書史』 石川 九楊（著）	中国語	陝西人民出版社 （中国）
7	『西洋紀聞』 新井 白石（著）	イタリア語	Adiuvare 社 （イタリア）
8	『中島敦 — 植民地文学の翻訳と研究』 Elio Bova（著）	イタリア語	Ortica 出版 （イタリア）
9	『哲学の根本問題 続編 弁証法的世界』 西田 幾多郎（著）	フランス語	モントリオール 大学出版局 （カナダ）

（敬称略、肩書は2026年4月1日時点のもの）

以 上